

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	除草剤 農林水産省登録・非農耕地用・グリホサート1%
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M251219
推奨用途	農薬(除草剤)
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分4 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報	警告 強い眼刺激 吸入すると有害 水生生物に有害
------------------	-----------------------------------

注意書き

安全対策

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

環境への放出を避けること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

保管
廃棄

眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
換気の良い場所で保管すること。
内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。
専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
グリホサートイソプロピルアミン塩	1%	C3H9N. C3H8NO5 P	(2)-3067, (2)-131	既存	38641-94-0
水、界面活性剤等(POEアルキルエーテルを含む)	99%	特定できない	—	—	—

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)

[α -(アルキル(C=16~18))- ω -ヒドロキシポリ(オキシエタン-1,2-ジイル)又は α -(アルケニル(C=16~18))- ω -ヒドロキシポリ(オキシエタン-1,2-ジイル)](数平均分子量が1,000未満のものに限る。)(政令番号:250)

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

グリホサート並びにそのアンモニウム塩、イソプロピルアミン塩、カリウム塩及びナトリウム塩(政令番号:605)(1.0%)

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂、一般の泡消火剤。

使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性

情報なし
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

環境への放出を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保管

接触回避

保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

衛生対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。
取扱い後はよく手を洗うこと。

安全な保管条件

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
グリホサートイソプロピルアミン塩	未設定	未設定	未設定
水、界面活性剤等(POEアルキルエーテルを含む)	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
グリホサートイソプロピルアミン塩	未設定	未設定
水、界面活性剤等(POEアルキルエーテルを含む)	未設定	未設定

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。

手の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。

状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護手袋等適切な保護具を着用すること。

眼、顔面の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。

皮膚及び身体の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護衣、履物等適切な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状

液体

色

液体

臭い

淡青色澄明

融点/凝固点

弱いアミン臭

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

下限

データなし

上限

引火点

データなし

自然発火点

引火せず

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

データなし

溶解度
n-オクタノール／水分配
係数(log 値)
蒸気圧
密度及び／又は相対密度

水に可溶
データなし
データなし
約1.172 (20°C)

相対ガス密度
粒子特性

データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性

情報なし
通常の保管及び取り扱い条件において安定と考えられる。

危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

情報なし
情報なし
情報なし
情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラットLD50 雌雄 >5000mg/kg(出典:メーカーSDS)
マウスLD50 雌雄 >5000mg/kg(出典:メーカーSDS)
との記載から区分に該当しない。

経皮

ラットLD50 雌雄 >2000mg/kg(出典:メーカーSDS)
との記載から区分に該当しない。

吸入

(急性毒性(吸入:気体))
GHS定義による気体ではない。
(急性毒性(吸入:蒸気))
データ不足のため分類できない。
(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))
吸入(ミスト): 区分4(出典:メーカーSDS)との記載から区分4に該当とした。

皮膚腐食性／刺激性

ウサギ 軽度刺激性[区分3](出典:メーカーSDS)との記載があるが、JISでは区分3は採用していないため、区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性
呼吸器感作性
皮膚感作性

ウサギ 中～強度刺激性[区分2A](出典:メーカーSDS)との記載から区分2Aに該当とした。
データ不足のため分類できない。
感作性なしモルモットとの記載から区分に該当しない。

生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性

データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。
(生殖毒性)
データ不足のため分類できない。
(生殖毒性・授乳影響)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。
データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データ不足のため分類できない。

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

コイLC50(96時間) 46mg/L[区分3](出典:メーカーSDS)との記載から区分3に該当とした。

水生環境有害性 長期(慢性)

データ不足のため分類できない。

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

Regulatory
Information by Sea

Complied with IMO.

UN No.

3082

Proper Shipping
Name

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE,
LIQUID, N.O.S.

Class

9

Packing Group

III

Marine Pollutant

Applicable

Transport in bulk
according to
MARPOL

Not applicable

73/78,Annex II ,and
the IBC code

Regulatory
Information by Air

Complied with ICAO/IATA.

UN No.

3082

Proper Shipping
Name

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE,
LIQUID, N.O.S.

Class

9

Packing Group

III

国内規制	陸上規制 海上規制情報 国連番号 品名 国連分類 容器等級 海洋汚染物質 MARPOL73/78附属 書Ⅱ及びIBCコード によるばら積み輸送 される液体物質	非該当 船舶安全法の規定に従う。 3082 環境有害物質(液体) 9 Ⅲ 該当 非該当
	航空規制情報 国連番号 品名 国連分類 等級	航空法の規定に従う。 3082 環境有害物質(液体) 9 Ⅲ
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号		171

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該非 労働安全衛生法(通知対象物質) 毒物及び劇物取締法(毒物・劇物) 特定化学物質の環境への 排出量の把握等及び管理 の改善の促進に関する法 律 適用される主たる国内法令 化審法	非該当 非該当 該当
船舶安全法	有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	その他の有害物件(法第86条第1項、施行規則第194条、昭和58年11月15日告示第572号・別表第1)
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(グリホサート並びにそのアンモニウム塩、イソプロピルアミン塩、カリウム塩及びナトリウム塩)
農薬取締法:農林水産省登録 第22710号	

16. その他の情報

参考文献

NITE GHS分類公表データ
EU CLP Regulation, AnnexVI
メーカーSDS

免責事項

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。